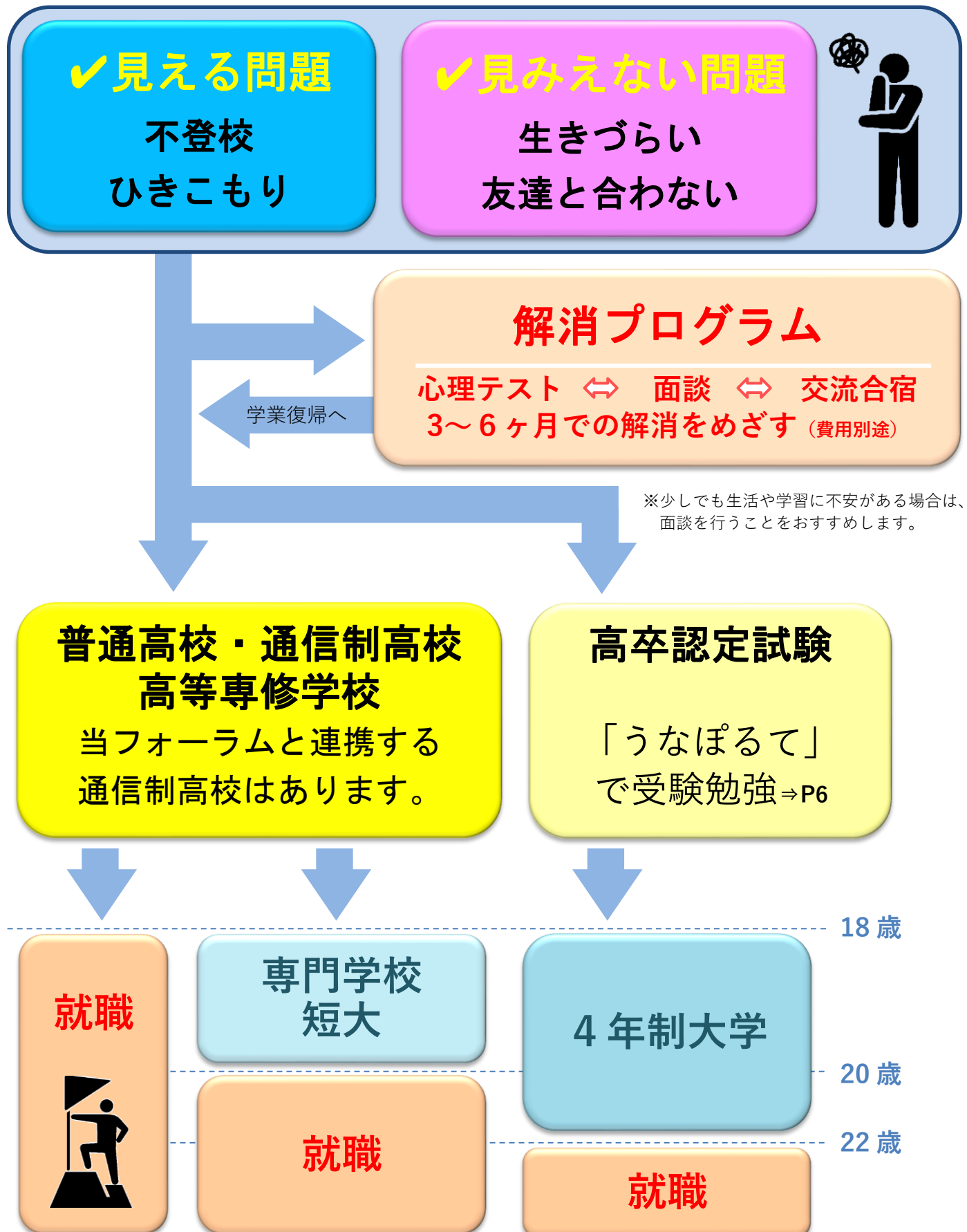


# 「うなぽるて」でひらく



# あなたの未来 . . .

解消プログラムは、  
なぜ必要なの？

環境が変わっても、心の問題が解決するわけではありません。将来にわたって再発しないよう、家庭環境を含めて対応します。

心の問題が本当に  
解消するの？

静岡県内外で250余名の解消実績があります。原因をみつけ適切に対応すれば、必ず解消します。

人と接するのが  
不安です…

インターネットを活用した授業なので、心配ありません。カウンセリングや交流活動を通じて、対人関係のコミュニケーションも改善します。

ちゃんと続けられ  
るか心配です…

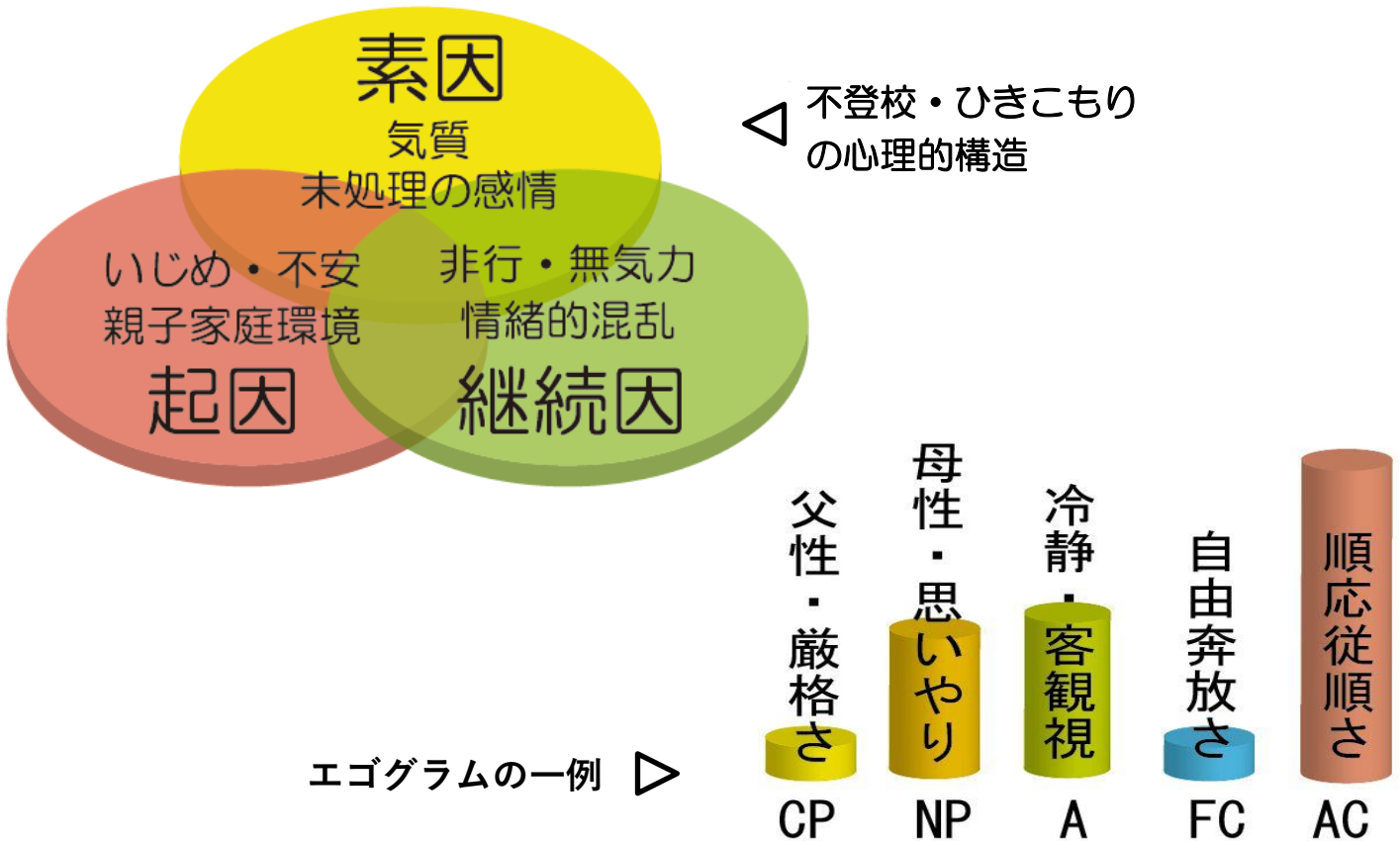
週2日（各5時間）は校舎に通学して勉強します。担任が進捗や「つまずき」をサポートしますので、安心して下さい。

外国籍で、日本語も  
不自由です。高校大  
学へ行けますか？

当グループには「ふじのくに中央日本語学校」があります。まずは日常会話、次に学習用語の習得を目指しましょう。1年しっかり勉強すれば、進学は見えてきます。一緒にがんばろう。

# 不登校・ひきこもり

なぜ不登校やひきこもりになるのか？



「素因」とは不登校・ひきこもりになる心理的素質のことを言います。不登校・ひきこもりは、「素因」と「起因（きっかけ）」と「継続因」とが関係しあっています。

起因として、学校生活面では「いじめ」、「先生との関係」、「学業不振」などがあり、本当の自分を知ったことからくる「不安感・緊張感」など、さらに家庭生活、とりわけ「養育者の関係」があります。また、継続因として自己認知からの「不安・緊張・無気力」などの情緒的混乱、「遊び、非行、意図的拒否」などがあげられます。

とかく周りの人達は「起因」ばかりに囚われ、解決の糸口を見失いがちです。私たちは、日本で初めて心療内科を開設した九州大学医学部が導入した心理療法「交流分析」を中心に、アドラー心理学、愛着アプローチなどを用い、本人の詳細な成育歴と本人はもとより、同居家族の「エゴグラム（心理テスト）」を採り、その心理的素因を科学的に分析します。そして起因だけでなく、素因や継続因を含めて、本人とご家族にその解決の方法を提案致します。

# 解消プログラム

「原因」解決こそが必要です！

心理テスト  
(1ヶ月ごと)

■東大式心理テストを  
同居家族全員に実施

養育者  
に報告

本人面談

メール・スカイプ・zoom 也可

■毎週3回が基本

- ① 養育者から同居・別居の家族構成および、本人の成育歴や不登校・ひきこもりに至った詳しい経緯をお聴きします。そしてご本人の同意のもと、同居している家族全員の心理テストを採り、成育歴と併せて不登校やひきこもりの原因を科学的に分析します。
- ② 原因分析に基づき、個々に合わせた解消プログラムを提案します。
- ③ 本人には日々課題を進めてもらいながら、週3回を基本にカウンセリングを行います。キャンプや燻製づくりなど体験活動に参加していただくこともあります。
- ④ 養育者には、1週間毎を基本にペアレントトレーニングをして頂きます。
- ⑤ 1ヶ月毎の心理テストによりプログラムの効果を確認します。必要に応じて、プログラムの修正を行います。
- ⑥ 2泊3日～4泊5日の日程で、国内外で行う交流合宿に参加して頂きます。合宿前からグループミーティングを行い、合宿中のチームビルディング研修で十分なコミュニケーションを図ります。
- ⑦ 自立と自信を取り戻し、よりよい人間関係を築くことへの効果が現れます。仲間たちと寝食を共にする合流合宿で人間力が花開き、不登校・ひきこもりの解消へと向かいます。

# 復帰へ向けて

心理的な 3 要因が「解消」に向かうにつれ、学業への不安に直面します。静岡県教育フォーラムでは「中学生」「中卒以上」「高校生」のコース別にサポートしていきます。

## 中学生

東進中学NETに入学、平日午前中から学習



復学・進学

中学 1・2 年→中学NETで学習を継続しつつ、復学後、高校進学を目指す

中学 3 年で、当該中学校の出席認定を受けられた場合→通常の高校に進学可能

//

を受けられなかった場合→「うなぼるて」で進学をめざす

## 中卒以上

「うなぼるて」に入学し、自宅・校舎にて学習



高卒・進学

**うなぼるて** 不登校ひきこもりから、高卒・大学進学をめざすSEFの新システムです！

普通高校・通信制高校・高等専修学校 入学コース

高校卒業資格を取得します。専門学校、大学も受験可能。

高卒認定試験での大学進学コース

最短1年で全科目合格。

徹底した受験対策で、国公立・難関大学も目指すことも可能です。

## 高校生

欠席日数と学力によって、コースが別れます



復学<sub>コース</sub>・高卒<sub>コース</sub>・進学<sub>コース</sub>

早期解消し、学力に不安がない場合 → 高校に復学

早期解消し、学力に不安がある場合 → 高校に復学 +  
「うなぼるて」に入学

欠席が3ヶ月を超えた場合 → 高校は退学し、「うなぼるて」に入学  
1年ロスにならないよう卒業・進学を目指します。



# 高卒認定試験とは

## 高等学校卒業程度認定試験とは

- 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があるかどうかを認定するための試験です。合格者は大学・短大・専門学校の受験資格が与えられます。
- 高等学校卒業者と同等以上の学力がある者として認定され、就職、資格試験等に活用することができます。
- ただし「高卒資格」ではないため、進学しなかった場合、最終学歴は「中学卒業」となります。

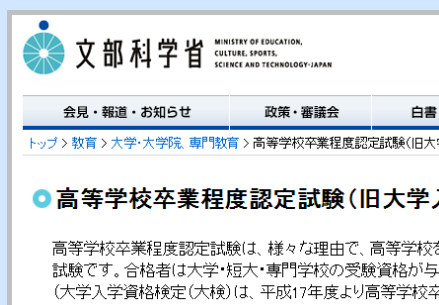
## 試験日程・科目等

- 年2回、8月と11月に、各都道府県で行われます。
- 国語、数学、英語、歴史、地理、公共、科学と人間生活、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎のうち、8又は9科目。  
(選択については文科省ホームページを参照ください)
- 高校に在籍し単位取得している場合は、申請の上、該当科目を試験免除することができます。

## 受験勉強

- I.【うなぼるて】に入学し、1年で全科目合格を目指します。(合格しても大学受験資格は18歳になるまで発行されません)
- II.2年目以降は、大学受験を目指したカリキュラムを作成し、個別指導で現役合格を勝ち取ります。

**難関大学（旧帝大）、医学部、国公立など  
目標に合わせて、結果をだします！**



# 地元密着だから安心！

静岡県のみならず県外も対応



- 通信制高校コースの週2日各5時間の通学学習は、うなぼるて（藤枝市前島1丁目3番16号オーレ1192ビル2B）で実施します。各自の学習進捗管理や、つまづいている点を、担任が一人ひとり対応します。個別面談も随時行います。
- 遠方の生徒には、SNSやスカイプ、zoomを利用した面談、学習相談も対応しています。校舎まで通えない場合は、ご相談下さい。
- 地元ならではのネットワークを活かした、きめ細かい指導が特徴です。



# 私達が担当します

私はこれまで、250名余りの若者たちの不登校・引きこもりを解消し、高校・大学進学へと導いてきました。

自分で考え、自分の眼で確認しながら、自分の足で一步ずつ進みたいからこそ、立ち止まる。そんな自分を信じ、自分の力で、人生の扉を開こう！

それを実現する場が、「うなぼるて」です。どんな夢でもいい。夢ある若者よ、来たれ！一緒にがんばろう！

静岡県旧金谷町(現島田市)出身。静岡県立藤枝東高等学校卒業  
静岡大学人文学部法経学科法学専攻(当時)卒業。大学在学中に会社を設立、以来、地域の教育に関わる。

資格：SEF認定心理スーパーバイザー。

理事長 兼 校長

山下泰孝



私はこれまで、山下理事長の下で、多くの若者が笑顔を取り戻すのを目にしてきました。

若者が自分の足で立ち上がり、一步を踏み出す瞬間には、いつも感動させられます。

今、もしあなたが出口の見えない闇の中をさまよっているのなら、私たちと共に一步踏み出してみませんか。

静岡県島田市出身。静岡県立相良高等学校卒業。2009年より不登校ひきこもりの相談員として活動。

資格：メンタルケア心理士ほか心理系資格取得

SEF認定心理スーパーバイザー。

副校長 土井ひろみ



# 先輩たちの声

## Tさん（当時中2）

私がクラスへ戻れたきっかけのひとつは、去年の春に「春ゆめの大自然交流合宿」としてオーストラリアに行ったことです。そこでは長期欠席をしている自分を知る人はほとんどいなく、事前のグループ研修や英会話研修から、気軽に人と接することができました。そして、人と一緒に行動することへの抵抗感がだんだんなくなってきました。

オーストラリアでは、現地の人達のおおらかさや、日本とは異なった土地柄の影響もあったのかもしれませんが、そこで自分を表現することの大切さを知りました。慣れない英語を使い、現地の人達とコミュニケーションすることは、とても大変だったけれど、楽しいものでした。

たった5日間でしたが、世界の広さを知ることもでき、素晴らしい経験となりました。将来はこういった経験を活かし、どこにあっても必要とされる人間になりたいです。



## Kくん（当時高1）の母より

新聞でセブ島合宿の募集広告をみました。一年前のKのことが思い出されました。あの3年間に比べると、今のKは180度の変わりようです。とにかくよく喋り、笑います。これはK自身も認めていることです。勉強は、英語はやはりクラスで真ん中で大変らしいですが、担任からは大学を目指せとはっぱをかけられ、夏休み終了一週間前に、特別授業を受けました。大学に行く行かないはさておき、勉強に意欲が出たことはいいことです。昨年12月より、自分で勉強したい気持ちになっているからです。先日藤枝での悲しい事件、今日の新聞でいじめた子供達に変化はないと記事にありました。このような記事がでると、Kもそういう気持ちになりかけていたことがあっただけに心が痛みます。本当にこんなばかげた【いじめ】という言葉がなくなってしまうといいのに。ゲームの世界のように死んでしまっても、リセットできないことを多くの子供達に理解してもらいたい気持ちです。

## Yくん（当時16歳）

不登校だったけど大学目指して勉強頑張っています！こんなこと、言うだけなら簡単にできます。でも、今の僕の状況は小学校中学校をともに半分以上を不登校で過ごし、高校にもいかず全く褒められたものではありません。こんな明らかに普通の道から外れた僕が大学に行けることができるのか。大学に入ったとしてもまた不登校になりやめてしまうのではないかなどなど学力問題云々抜きにして、色々と考えてしまいます。

僕のやっていることは、大学に入ることを目標とするとかなり回り道をしています。でも、回り道をしたり逃げたりすることって駄目なんだろうか？と最近思うようになってきました。その理由は多分、理事長の山下先生の話の聞いたり、この学校のプログラムの一環として色々な場所に行き、たくさんの経験を得たからだと思います。このことで、自分の考えに大きな変化が起きました。僕が不登校になった原因の一つに「頑張りすぎた」というのがあります。だから、辛くなったら逃げて、無理そうなら別の道を探す。そんな風に適度にガス抜きをしながら、志望大学を目指し勉強を頑張ります。



# 体験・交流活動

様々な体験を通して、心身の成長を図ります！！



東日本・被災地訪問合宿



スノボ合宿



オーストラリア (2003年)



燻製・ベーコン作り



カヤック・カヌー



沖縄交流合宿 (2008年)



タイ焼き作り



そば打ち



陶芸



釣り



山歩き・ハイキング



酪農体験

# うなぽるて 問合せ

■不登校・ひきこもり相談については

藤枝市前島 1-3-16 オーレ 1192 ビル 2B

電話 054-644-1304 (担当者直通)

FAX 054-643-3852

mail [yamashita@higeguma.com](mailto:yamashita@higeguma.com)

■入学・願書・受講内容・学費などについては

事務局 藤枝市前島 1-3-16 オーレ 1192 ビル 2B

電話 054-631-5534

FAX 054-631-5534

mail [metis@higeguma.com](mailto:metis@higeguma.com)

●問合せ受付時間 月～土曜日 9:30～20:00

お電話が繋がらない場合は、もう一方(事務局または本部)へおかけ直し下さい。

【特定非営利活動法人静岡県教育フォーラム (SEF)】

不登校・ひきこもり等解消支援

藤枝市前島 1-3-16 オーレ 1192 ビル 2B 電話 054-644-1304

虹の架け橋 菊川小笠教室

菊川市下平川 6269 電話 0537-29-5754

日本語を母語としない児童・生徒の日本語・教科指導。



すまいるテラス

掛川市三俣 620 掛川市大東支所 4F

子ども達の新しい形の居場所

【特定非営利活動法人日本インターネットスクール協会 (JISO)】

藤枝市前島 1-3-16 オーレ 1192 ビル 2B 電話 054-631-5534

オンライン・ネイティブ英会話

# 問い合わせシート FAX (054) 643-3852

■ご本人氏名	■年齢 ( )
	■性別 (男・女)
■保護者氏名	
■ご住所	
■連絡先	
電話	FAX
メール	
■ご本人生年月日	
■同居家族 (○をつけて下さい。カッコ内は人数記入)	
祖父・祖母・父・母・兄 ( )・姉 ( )・弟 ( )・妹 ( )・その他	
■登校状況 (いつから、どのくらい、など)	
■友人関係	
■親子関係	
■きっかけ、今後の不安など	

。※問い合わせは、ホームページ【[higeguma.com](http://higeguma.com)】からも受け付けます。※お預かりした個人情報は、当法人からの回答や資料送付にのみ利用させていただきます